

夏

暑い夏の間、九十九島地域は熱帯のような印象を与えます。多くの花々が暖かい気候の中で咲き乱れます。島を訪れる人々は、深い青色の海と空と海から吹く涼風を楽しめます。夏は島で最も忙しい時期です。海岸も多様で特徴的な動植物で賑わいます。

- 展示写真の詳しい情報や説明をご覧になるには、QRコードをお使いください。館内では無料 WiFi がご利用になれます。

<写真>

カノユリ

時に Japan Lily（他の数品種にも同じ名前が与えられていますが）とも呼ばれるこの見事なユリは、佐世保市の市の花です。桃色の花弁には赤色の斑点があり、斑模様のある鹿の子の背中に似ていると言われることから、カノユリとも呼ばれます。

ハマボウ

黄色いハイビスカスであるハマボウは九十九島に夏の訪れを告げます。多くのハイビスカスの品種のように、ハマボウの花は一日しかもちませんが、最初の花が落ちた後には次の花が咲く準備ができています。この明るい植物は、7月中旬から8月初めにかけて開花します。

ハマオモト

このユリ（*Crinum asiaticum*）は高さ1メートルまで成長します。ハマオモトは夜に開花し、非常に強い香りを持ちます。ハマオモトの種は海流によって運ばれるため、この花は九十九島全域で広く見られます。